



西産建第 246 号
平成 20 年 10 月 9 日

国土交通省道路局長 様

滋賀県西浅井町長 熊谷



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号で依頼のありました「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」別紙のとおり報告します。

記

- ①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など・・・様式①
- ②－ 1 地域の現状と抱える課題・・・様式②
- ②－ 2 地域の目指すべき将来像・・・様式③
- ③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）・・・様式④

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

滋賀県西浅井町

道路利用者が安心、安全で快適に道路を利用できる環境を整備するため、道路予算の確保を行い引続き道路整備を行っていく必要がある。今後も道路財源の確保が最重要であり道路は地域間の交流や経済活動、町づくりにはなくてはならないものである。北陸自動車道路が積雪等により通行規制が行われると、車両は木之本インターから国道8号へ迂回されることから、国道8号など周辺道路がたびたび渋滞や停滞となり、道路の除雪作業にも支障をきたすことがある。国道8号塩津バイパスの早期完了と長浜から福井県境までのバイパス整備や国道303号、県道、町道についても未整備のところがまだまだ数多くあり、日常生活上、新たな道路整備と共に維持管理も不可欠であり今後も道路財源の確保を強く望む。

- ・ 冬季の除雪体制の確保と消雪施設の整備。
- ・ 雨や降雪による落石や土砂崩れの防止対策の整備。(災害に強い生活道路の整備)
- ・ 児童・生徒、老人などの安全を高めるための歩道整備と琵琶湖周回ができる歩道の整備。
- ・ 救急車両の走行時間短縮と緊急医療施設へのアクセスの向上(バイパス整備、幅員の確保、カーブの修正等)
- ・ 維持管理の充実(舗装の修繕、除草、ごみ対策等)

地域格差の解消と画一的な道路整備でなく、地域の実情に見合った道路計画・整備が必要であり、道路財源の安定的な確保と地方への重点配分を強く要望する。

道路整備の効率化とコスト縮減、無駄な予算削減により必要道路事業の推進を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１地域の現状と抱える課題

滋賀県西浅井町

○現状

国道 8 号の西浅井町大字余地先から福井県境までが坂道で急カーブで視界が悪く幅員が狭いため、危険度が高い。山間部で積雪が多く、度々渋滞が発生し緊急時の交通に支障をきたす

国道 8 号バイパス長浜以北の冬季通行の安全確保

当町は中山間地域で山間部を道路が縦走しているため、落石等の危険が大きい。奥琵琶湖パークウェイが一方通行となっているため観光事業に打撃を受けている

交流の深い隣接の余呉町との連絡道路がなく、長年に及ぶ両町民の懸案事項である（主要地方道西浅井余呉線）

歩道等道路施設の維持管理の頻度が少ない

町道のカーブ、坂道、狹隘道路等の解消と消雪施設の充実

道路整備費や維持管理費が極端に不足している

○課題

国道 8 号の山間部はカーブが連続しているため危険箇所が多い。

集福寺、沓掛等集落入口の右折レーンの設置

山間部のカーブの解消、登坂車線の設置

沓掛から余まで、機械除雪が行えるよう歩道の拡幅

長浜以北のバイパス整備（長浜市～福井県境）

生活道路である県道葛箆尾崎大浦線、西浅井マキノ線等の法面崩壊防止対策と観光道路の県道葛箆尾崎塩津線の法面对策が必要。

主要地方道が山で分断されていて通行が出来ないためトンネルによる新設道路が必要

草・木の繁茂による交通の支障とごみの散乱による環境悪化。

降雪時の通行とすれ違い時に支障をきたしているため、道路整備が必要

道路財源の地方への重点配分が必要。

②－２地域の目指すべき将来像

滋賀県西浅井町

通勤・通学者はじめ道路利用者が安心して利用できる道路の整備が最も重要と位置づけている。当地区は近畿・中部地方と北陸地方を結ぶ交通の要衝で、災害時には更に重要な緊急輸送道路（国道８号、国道３０３号等）としての役目があり災害に強い道路整備（山間部の勾配、カーブの修正と迂回道路の整備）が必要である。国道８号沿いには特産品販売施設の「奥びわこ水の駅」があり各方面から多くの方が利用されている。現在計画されている道路情報発信基地が整備されることにより、道路情報を得やすく道路の利用者が安全に通行できることが期待でき、国民宿舎など体験型宿泊施設を利用した都市との交流が活発となることが期待される。琵琶湖を安全に周回できる車道と自歩道の整備により、各種イベント開催など滋賀県の活性化が期待できる。地方では、人・物の移動の大半を自動車に依存しており、地域経済の強化や安心して暮らせる地域社会の形成にとって、道路網の整備は不可欠である。地方が道路特定財源として有効に活用できるよう、強く願うものである。

また、湖上交通の面からも平成１８年度には災害時における湖上交通の基幹港として、大浦漁港が大津港、彦根港と共に内閣府から地域再生計画が認定され、整備が行われていて湖上交通の要衝として期待される。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

滋賀県西浅井町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・交通安全対策 ・危機管理 ・地域活性化	長浜市から福井県境までの国道8号バイパス整備 消雪施設等除雪体制の充実（国道、県道、町道） 歩道の設置（国道、県道、町道） 道路施設の維持管理（除草、舗装の補修、ごみ） 町道の整備（拡幅、カーブの修正等） 余呉町への連絡道路の新設整備 奥琵琶湖パークウェイの整備（現在、法面の崩落箇所があり一方通行となっている）	北陸と近畿・中部を結ぶ陸上輸送の確保と琵琶湖周回の歩道整備により歩行者の安全確保 冬季交通の安全確保 歩行者、自転車利用者の安全確保 利用者の安全確保と環境美化 カーブ、坂道、橋梁の改築により歩行者、車両の安全が確保される 隣接町で交流がありながら直接行き来が出来ない。両町民の交流と災害時の代替道路として期待が出来る 自然景観を活用した観光の推進と走行車両の安全確保。利用者の増加が見込める	